

感染症研究国際展開戦略プログラム
ミャンマー呼吸器感染症制御へのアプローチ
第一回日本・ミャンマー合同シンポジウム in 新潟

新潟大学ミャンマー感染症研究拠点

Infectious Diseases Research Center of Niigata University in Myanmar (IDRC)

平成27年度より、AMED（日本医療研究開発機構）の感染症研究国際展開戦略プログラム（J-GRID）の一つとして、新潟大学はミャンマーの国立衛生研究所に感染症研究拠点を設け、ミャンマーで蔓延する感染症、特にインフルエンザや小児重症肺炎の制御に向けた予防、診断治療に資する新しい技術の開発及び高度専門人材の育成を目的とし、調査・研究を開始しました。本シンポジウムではミャンマーの研究者を招き、新潟大学と国立感染症研究所の研究者と共に合同の報告会を行います。

日時：平成28年11月2日（水）、午後1時～5時

会場：新潟大学医学部有壬記念館大会議室（二階）

プログラム（案）

- 13:00 – 13:10 開会の挨拶（新潟大学・高橋 姿学長）
- 13:10 – 13:20 挨拶「Aim for J-GRID Program」（国立研究開発法人・日本医療研究開発機構・感染症研究国際展開戦略プログラム・プログラムスーパーバイザー 神田忠仁）
- 13:20 – 13:35 挨拶・講演「Role of National Health Laboratory (NHL) in current Myanmar medical laboratory services」（ミャンマー国保健・スポーツ省、副局長 Prof. Dr. Htay Htay Tin）
- 13:35 – 13:45 「Introduction of the project activity」（新潟大学ミャンマー感染症研究拠点・特任教授、渡部久実）
- 13:45 – 14:00 「Profile of Virology, National Health Laboratory, Myanmar」（ミャンマー国立衛生研究所・副所長・ウイルス部長、Dr. Latt Latt Kyaw）
- 14:00 – 14:15 「Influenza in Myanmar –Friendship that counts」（ミャンマー・サンピュア総合病院、呼吸器内科部長、Prof. Dr. Yadanar Kyaw）
- 14:15 – 14:35 「Study on Influenza and Other Respiratory Viruses in Myanmar」（新潟大学大学院医歯学総合研究科・国際保健学講座・教授、プロジェクトリーダー、齋藤玲子）
- 14:35 – 14:55 総合討論
- 14:55 – 15:25 休憩
- 15:25 – 15:40 「Profile of Bacteriology, National Health Laboratory, Myanmar」（ミャンマー国立衛生研究所・副所長・細菌部長、Dr. San Mya）
- 15:40 – 16:00 「Investigation of Pathogens Causing Severe Acute Respiratory Infection in Children in Myanmar」（新潟大学大学院医歯学総合研究科・小児科学講座・教授、齋藤昭彦）
- 16:00 – 16:30 講演「Influenza - from surveillance to selection of viruses for vaccine composition -」（国立感染症研究所・インフルエンザウイルス研究センター第1室・室長、渡邊 真治）
- 16:30 – 16:50 総合討論
- 16:50 – 17:00 閉会の挨拶（新潟大学・牛木辰男医学部長）

注：演題名や内容は、変更になることがあります。